

白岡八幡さま

発行
白岡八幡神社
〒349-0218
埼玉県白岡市白岡 889
社務所
TEL.0480-48-5118



白岡八幡神社 検索

懐かしい出店と灯籠でにぎわった秋の大祭
令和五年の初詣は、爽やかに、賑やかに”

あと一カ月で令和五年のお正月を迎えます。白岡八幡神社では例年、年頭の歳旦祭、三月第二日曜日の例大祭、一〇月第三日曜日の秋季大祭を『大祭』と呼び、巫女舞やお囃子を奉納するとともに、いろいろな催しや出店を行ってきましたが、この二年間は新型コロナウイルス感染症対策のためほとんど取りやめました。



灯籠が輝く秋の大祭



懐かしい出店です



令和4年正月神楽殿で舞う獅子

今年一〇月一六日の「秋の大祭」では、四回目のワクチン接種がすすんでいること、国県において行動制限が無いことからこれまでの神事、灯籠飾りに加えて、綿あめ、射的、ヨーヨー釣り、スパーボールなどの出店と子供向けの花火大会を行うことができました。当日は、綿あめ、ゲームのテント前に列が

でき、夜行われた花火大会も大変喜ばれました。高齢の方も多数おいでになりましたが、若い親子連れが目立ち、子供にお祭りを体験させたいという親心があふれた一日でした。

白岡八幡神社ではこれから令和五年の初詣の準備に入りますが、この二年の初詣の新型コロナウイルス感染症対策の経験を活かし、皆様のご参拝がつつがなくありますよう努めます。参道

境内の清掃をし、大幟、紅白幕、手水舎、拜殿、本殿、神楽殿を整え、お札、お守り、破魔矢、熊手など授与品の授与所、例年多くの方が立ち寄られるおみくじのテントを準備します。

なお昨年同様新型コロナウイルス感染症対策のため、手水舎の柄杓、拜殿の鈴緒は撤去します。令和五年の初詣が爽やかで賑やかでありますよう祈念いたします。

◇神職雑感

海外からご祈禱依頼

令和五年のお正月が参ります。例年のことですが、元旦には本殿で歳旦祭の神事を行います。宮中で行われる祭祀ですが全国の神社で氏子のご家庭の平安を祈念して行われます。

二日からは、氏子の皆さまの個々のご希望に応え、年頭祈願を本殿で行います。家族そろった記念や、今年は特別のことがあるからなど動機と祈願内容は様々です。

祈願とはお願いごとですが、

神様に誓うという意味があります。この一年、願い事や目標に向かって神様のお力を頂きながら努力しますという主体的な祈願なのです。私どももそのような関係性でご祈禱させていただきます。

その年頭祈願で昨年特別のことがありました。年末にエメールアドレスが届いたのです。カナダ在住の女性からの封書で、いま海外在住のためお札の返送は無用ですが、白岡八幡さまで家内安全のご祈禱をお願いしたいというものでした。

一時的に白岡を離れておられるのか、引越されたのかは分かりませんが、家内安全のご祈禱をお宅に届くよう心から行いました。当神社も国際的になつたなど、今年もご連絡を頂けるか期待しております。

権禰宜 阿部正弘



「花の散歩道」

「コロナ禍の日々」

「花手水」華やか

花手水がいつ頃から始まったのかは分かりませんが、コロナ禍で手水鉢の使用を控える替わりにそこに花を浮かべるようになったと聞いています。川越や行田では神社だけでなく街のあちこちに花を浮かべた鉢を置いて楽しませているというニュースに接しました。

是非白岡八幡神社でもやってみたい、参拝の皆様喜んでいただきたいと思つて相談し昨年の一〇月より一人で始めました。

最初は自宅や友人のお庭に咲いている菊を中心に浮かべ、主に七五三のお祝いに来られた方々に見ていただければと思いましたが、参拝客の多い年末年始は、コロナ禍の中、少しでも華やかにという思いから花を選びました。できるだけ多くの方に楽しんでいただけたらと、神社の行事のある頃に不定期ですが取り組んできました。今では私以外に、自宅に咲いた花を持ってきて手水鉢いっぱい豪華

華に飾ってくださる方もいます。参拝の折にはぜひ手水舎に目を向け楽しんでいただければ幸いです。
(山・神田さん)



花いっぱいの手水鉢

「花の散歩道」

八幡さまの春夏秋冬

白岡八幡神社は平安時代に創建された由緒ある神社で、古くから地元の皆様が親しまれている神社です。境内には、天然記念物でご神木のカヤノキ、参道にイヌザクラがあります。

春には参道側にある垂れ桜やソメイヨシノが咲き、境内北側にはしだれ梅、ミツバツツジ、シヤクナゲが咲きます。

特に、四年前からコメリ緑育成財団からの助成金を二カ年いただき、天満社の周りと末社北側に約四百株のクリスマスローズを植栽

しました。近年はカラフルでガク弁もシングル、ダブルなどがあり白、黄色と様々な色があり多くの方々の目を楽しませています。

夏には北側回廊に紫陽花が咲きますが、今年もコメリ財団から助成をいただき、西洋紫陽花白のアナベルを六十株、ピンクを十株購入し、境内西側のヒノキ林と参道側垂れ桜下に植栽しました。

今後皆様から親しまれる神社を維持するため、四季折々、木々や花を楽しめるよう整備していきたいと考えております。



天満社周辺のクリスマスローズ

なお、地域の皆様で、八幡神社の植栽の手入れに協力いただける方のご連絡をお待ちします。社務所にご連絡いただければ担当よりご連絡いたします。
(社務所0480・48・5118)
総代 大橋 登

「私の散歩道」

癒しのジヨギングコース

川沿いから八幡さまへの二〇キロ

のどかな雰囲気な癒されポイントとしたい時に最適なジヨギングコースを紹介します。

スタートは、白岡中学校近くの「水と緑のふれあいロード」。まず用水路に沿って北へ向かいます。圏央道の橋桁をくぐって星川を眺めながら進み、菖蒲の十六間堰で弁天橋を渡ります。昔の人つてすごいなあと思いつつ見沼代用水に沿って「緑のヘルシーロード」を南へ走り、柴山伏越を通り新幹線の高架まで来たら元荒川に出て

八幡橋を渡り八幡神社へ向かいます。八幡さまには思い出が沢山あります。「子供を抱っこして来たな」とか「巫女舞を見に来たな」とか「初詣でペットが脱走したな」とかいろいろなことを思い出しながら八幡神社の参道をおり一の鳥居をくぐって家路につきます。

川沿いの道はとても見通しがよく、前方にはこれから走って行く道がずっと先まで続いていることが分かります。すぐにはたどり着けない遠い先も一歩一歩進めれば必ずたどりつける。



私は今年「天命を知る」という五〇歳ですが、今日も明日も来年も十年先も前を向き自分のペースで一歩ずつ前進していきたい、そう思わせる私の散歩道です。
(東・小俣正樹)

「私と八幡さま」

記憶にない馬よせ祭のお参り

白岡八幡神社の名前を聞いたのは、私が白岡に嫁いでくるより前でした。蓮田の実家に私の母が嫁いできたころ馬よせの日にお参りに来たそうです。当時は馬に乗った花嫁の姿があったとか。私が嫁いだ時には馬よせの日にお参りをしたかどうか、今では記憶にありません。

その後、子供の成長と共に、初宮参り、七五三など、節目節目にお参りしました。また受験の時など合格祈願に訪れました。最近で

は孫の初宮参りでお世話になりました。

毎年、初詣は欠かしたことがありません。いつ頃からか大晦日の人出が増え参道に長い列ができるようになりました。最近ではコロナ禍もあり、混雑する三が日を避け四日以降にゆっくりお参りするようになりました。

神社の境内が整備され綺麗になり祈願だけでなくお花を見に訪れるようになりました。友人から、クリスマスローズが見ごろだよと

写真が送られてきたことがあり、また、私からしだれ桜が今満開だよと送ったこともあり。祈願とは別に神社に行く楽しみが生まれました。



満開のしだれ桜

(山・神田さん)

「私と八幡さま」

十二枚の絵馬の復活を切に望む

昨年まで、白岡八幡神社に行くときまず目につくのが本殿の周りを巡る大きな十二枚の絵馬だった。絵馬はもともと何かを祈願する、願いが叶った時のお礼として神社に奉納するものだったそう。

十二枚の絵馬は一枚一枚が力強いタッチで描かれていてしかも躍動感があつて神社へ行く心が癒されたものだった。

白岡八幡神社の絵馬についての起りを聞いてみた。白岡高校の美術部の生徒が一年をかけて作成してきたものだろう。どの絵馬を見ても大作である。翌年の干支

持っただろう。

いま、その絵馬は神社関係者によって今年の干支の分一枚しか貼られていない。他の絵馬は仕舞つてあるという。絵馬の作成に関わった美術部の生徒たちが成長し社会人になり白岡八幡神社を訪れた時にどう感じるだろうか。

私は、あの本殿をぐるりと囲むようにした絵馬を思い、同じように復活することを切に願う。白岡八幡神社は関東でも知られた神社であるが、あの迫力ある絵馬によってさらに広く知られるようになると思う。白岡市が立派な神社を構えている、その一角を同じ白岡の高校生が担っているということは大変な町おこしであると思うが如何だろうか。

(山・佐藤悦堅さん)

「私と八幡さま」

毎日参道を通って通学しています

私は、白岡中学校の二年生で、毎日学校に行くとき、神社の前の道を通っています。その道が神社の土地だということは父から聞いて知っていました。参道」というとは知りませんでした。八幡さまはすぐく昔からの神社だと思えますが入りやすくお祭りには毎回行きましたし、弟とも馬に乗りま

した。 拜殿の中にも、いとこの七五三の時に入りました。それから初詣には毎年行きます。お年玉がいつ

ぱいもらえますようにお願いしませす。きつとそうなると思います。

(西南・佐々木音瑠さん)



参道と二の鳥居

ベンチ使っています

昨年七月二五日、白岡八幡神社にベンチを三台設置しました。

神社に立ち寄られる方が足を休めるところを用意したいと相談になり、氏子崇敬会から一台、大成ラミック(株)様から地域貢献事業として二台寄贈いただきました。それから一年半、置き場所など色々変えましたが、おかげで日々ご利用



ご近所の佐藤さん杉田さん山口さん

いただいています。 たまたま神社に立ち寄られ、ご利用中の写真を掲載いたします。

について、部員一人ひとりがアイデアを出し合つて長い月日をかけて作成したものだ。汗の結晶とはこういう作品をいうのだろう。とにかく大きな絵馬が毎年毎年作られていくのだから部員たちは成し遂げたという大きな満足感を



白岡高校美術部作成の絵馬

令和五年の祭事

白岡八幡神社は境内社も多く毎年多くの祭事を執り行っています。ご遠慮なくご覧ください。

歳旦祭	一月 元旦
古神札お炊き上げ	一月一五日
境内社稲荷神社例祭(初午祭)	二月初午の日
祈年祭(だるま市)	二月一五日
例大祭・神馬神社例祭	三月第一日曜日
庚申祭	三月二五日
境内社三峰神社例祭	四月一五日
境内社日枝神社例祭	四月二五日
防ぎ祭	五月一日
夏越しの大祓い(茅の輪くぐり)	六月末日曜日
阿夫利神社例祭降神祭	七月二五日
阿夫利神社例祭昇神祭	八月一七日
秋季大祭・灯笼祭	一〇月第三日曜日
境内社天満神社例祭	十一月二五日
大祓い	十二月一九日



←阿夫利神社
年に24日間だけ
境内に姿を見せます

お札とお守り根付

お神札をまつりかえ、古札はお焚き上げに

お神札は神様が宿っているみしるしです。新年を迎えるにあたり神棚を綺麗にし新しいお神札にまつりかえます。一年間守っていただいた古札は感謝を込めて神社に収め、お焚き上げしてもらいましょう。

白岡八幡神社のお神札は「木札」「水引付き」「神札」の三種があります。

お守りは身に付けて神様の力を頂くものですが、願いが叶うまで身に付けても、新年の機会に取り換えても結構です。願いごと別にいろんな種類がありますが、この度、新しく十二支お守りを加えました。



「木札」「水引付き」「神札」

例年好評の招福干支根付お守りも用意しています。社務所窓口に出してください。

八幡さまのおみくじ

「みくじ箋」は大吉の次は吉

現在のおみくじの原型は平安中期ごろといわれています。時代を経て個人の吉凶を占うものになりました。白岡八幡神社でも、お正月を中心年に六千人の方がおみくじを求められています。当神社のおみくじは、五〇本のみくじ棒の入った角柱のみくじ箱から振り出された一本に書かれた数字の「みくじ箋」をお渡しするものです。

よく聞かれるのは運勢の順番ですが、当神社のみくじ箋は、大吉、半吉、小吉、末吉、末小吉の順になっています。何故おみくじを結んで帰るのかと聞かれますが「縁を結ぶ」から来ている風習でしょう。折角のご託宣ですから大切にしてください。



おみくじがぎっしり

総代研修会に参加

八月二四日に加須市で開かれた埼玉県神社氏子総代連合会主催の研修会に参加しました。埼玉県内九支部の凡そ一九〇名、当神社からも四名の参加です。

第一講は「神宮大麻について」で、伊勢神宮のお札である神宮大麻の経緯の講話で、日本古来の神道文化の営みが明治初期の廃仏毀釈がもとで精神的に頼る物が無くなり、何かすがる物がその時代に求められた事はわかるような気がします。そして今、年間九〇〇万を伊勢神宮で奉製し、神社本庁が全国に頒布していること、その祀り方、毎年拝受する意味を学びました。

第二講は「神社と総代」です。全国七八〇二社、埼玉では一九九三社、神職が五六〇名、総代はおおよそ四〇〇〇名であること。神社奉仕の心構えとして、宗教的な面と世俗的な面があること、その神社運営における諸問題が話された。総代の役割は普通の会社組織と変わらないの思いです。研修に参加して、白岡八幡神社での活動を多面的に見直したいと思いました。



総代の佐野俊介さん

(総代) 佐野俊介

世話人紹介します

白岡八幡神社では諸行事と日常活動のために、総代のほか二三名の世話人が委嘱され活動していますが、今年度四名の女性世話人が誕生しました。今後ますます多くの女性総代・世話人の誕生が期待されます。

ごあいさつ

今年度から、世話人としてご奉仕させていただくことになりました。古来より培われた伝統を守りつつ、総代の皆様とともに、女性ならではの視点で地域の方々の結びつきを深めながら、神社の発展のお手伝いが出来たらよいと思っております。

どうぞよろしくお願ひいたします。(世話人・岡安京余)



左から
青木さん 井上さん 加藤さん 岡安さん